# 交通空白解消・地域活性化・行政コスト圧縮に資するモビリティ実装

**浪江町・日産自動車株式会社**

震災・原子力災害被災地となった浪江町において、自由な移動手段提供を通じた地域の復興・活性化に取り組んでいる。
2021年より、住民と地域を支える外来者の移動の基本となる公共交通を確立する取り組みとして、AIデマンド区域運行のスマモビを提供している。また通学や夜間の移動など、スマモビで解消できない移動課題を解消するスキームの構築にも取り組んでいる。

*なみえスマートモビリティ（略称：スマモビ）

## スマモビによる地域公共交通の課題解決

### これまでの取り組みの経緯

**2017：段階的な避難指示解除**

⬇

**2021：まちづくり連携協定の締結**
⇒なみえスマートモビリティ実証実験開始
地域拠点「浜通りデザインセンターなみえ」の整備

⬇

**2023：なみえスマートモビリティ有償化**

⬇

**2025：4条乗合の実証をスタート**

### スマモビのサービス

スマホから予約し、AI配車

二次元コード配車機能

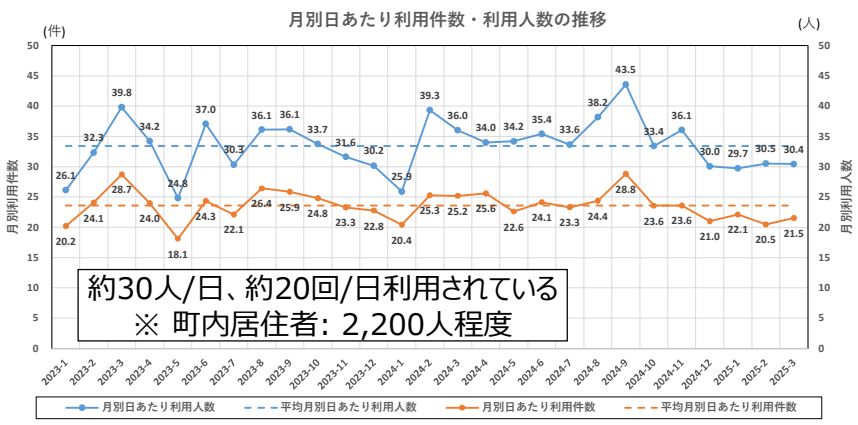
スマホ講習会

■運賃
基本運賃：ゾーン制（300円～1000円）
決済方法：現金、Paypay、クレカ事前決済
割引　　：ヘビーユーザー向けeチケット

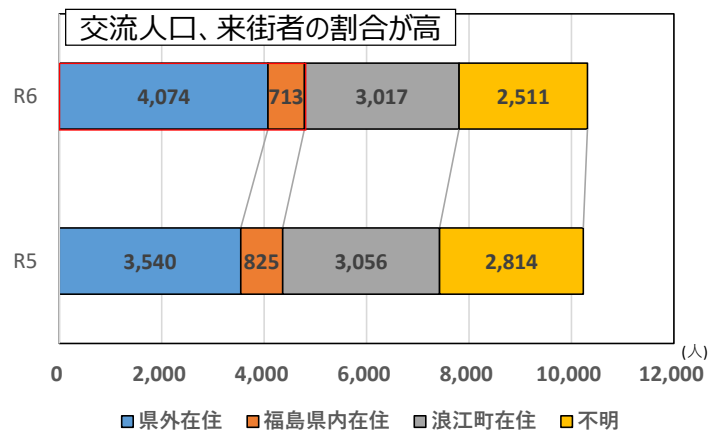
■営業時間　通勤や飲食利用を考慮

| | |
|---|---|
| 月・火 | 8：00～19：30 |
| 水～金 | 8：00～21：30 |
| 土・祝 | 9：30～19：30 |

### スマモビの利用実態



▲月別の日当たり利用件数・人数



▲ユニークユーザーの居住地別構成

**通勤・飲食店**への移動、**出張者・観光客**等、子供や移住者等の移動の課題に対応し、**地域に根付いて**きた
⇒一方、**現状のサービス形態では対応できない**ニーズ、**スマモビ単体では解決できない**課題にも直面

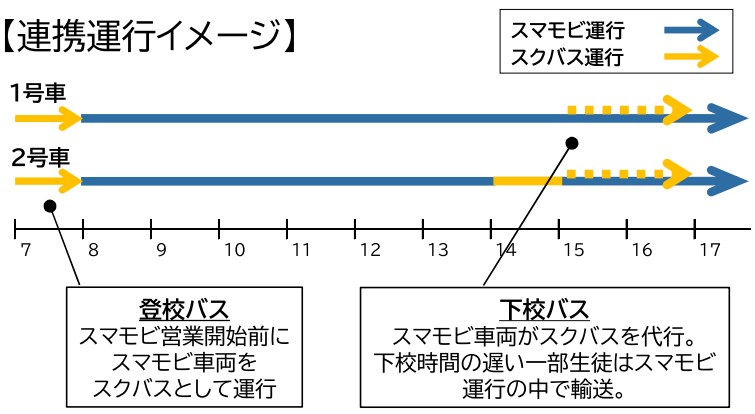
## 残る地域の移動課題に向けた取組

### スクールバス連携によるスクールバス（スクバス）運行コストの削減と、スマモビ稼働率向上

**現状と課題**
移住者増により生徒が急増しており
スクールバスの費用負担や事務の
手間が大きい

**スクールバス・スマモビ運行連携**
**既存リソース活用でスクールバスの輸送力拡大とスマモビ事業性改善**

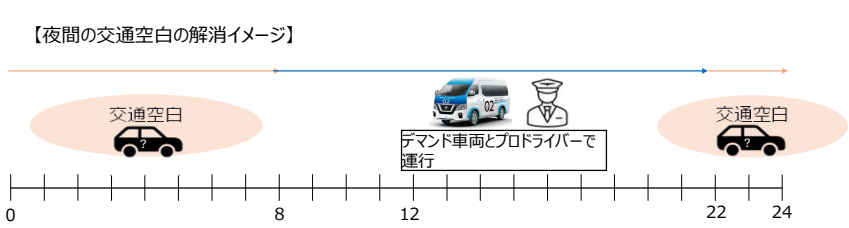
【連携運行イメージ】

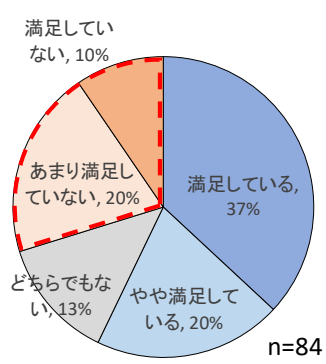



### 地域のリソースを活用した夜間の交通空白の解消

**現状と課題**
✓歴史的に地域経済に飲食店が貢献
✓飲食店から帰る足がない
✓収益や担い手不足などの観点から地元タクシー会社だけでは夜間営業が困難

**既存アセットの活用による交通空白の解消**
**ドライバや遊休車両の確保と、ライドシェア等活用による夜間の移動の外部経済化検討**



▲スマモビの営業時間への満足度（アンケートより）